

カーネーション

ひと鉢ひと鉢の生長にあわせて 育てられたカーネーションです

群馬県の生産者さんが育てたカーネーションです。数万とある鉢ひとつひとつの乾き具合にあわせて根全体に水が行き渡るように手で水やりをしたり、ひとつひとつの生長具合にあわせて芽の先を摘む作業をしています。その手間のおかげで、きれいで丈夫な花を咲かせるために不可欠なしっかりとした根が育ちます。



天然素材のカゴに入れました

アバカからとれる素材「ルピス」を編んでつくられています。アバカは生長が早く、苗を植え付けてから約3年で収穫ができ、一度植えたら脇芽が出て安定して生育する持続可能な資源です。お花をお楽しみいただいた後は、小物入れとしてお使いいただけます。



■育て方

お花が届いたら、すぐに箱から取り出して、お花のまわりを包んでいるビニールをはずしてください。また、土が乾燥していたら水やりをしてください。

置き場所

日当たりが重要です。日当たりがよく、風通しのよい場所に置いてください。湿気が苦手ですので、夏場は蒸れないように乾かし気味にしてください。冬場は風や霜に当たらない場所に置いてください。

水やり

水やりの際は、カゴから取り出してください。土の表面が乾きはじめたら、鉢底から流れでるくらいたっぷりを与えます。花や葉に水がかからないように、土に直接水やりをしてください。しばらくおいて水が垂れなくなったら、セロハンと一緒にカゴに戻します。

管理方法

咲き終わった花を摘み取ってください。新しい花を咲かせるための栄養分をとられないようにするためです。春から初夏、秋には肥料を定期的に与えてください。カーネーションは多くのつぼみを付ける性質がありますが、開花しないつぼみもありますので、ご了承ください。軽く押すとつぶれてしまうつぼみは開花しませんので、摘み取ってください。

秋にもう一度お花を咲かせるためには

花が咲き終わったら、株元から10cmほどの高さまで切り戻し、庭やプランターに植えてください。秋にもう一度きれいな花を楽しむことができます。



〈天然素材のカゴのお取り扱いについて〉

- 素材の特性上、切断面やさくれ等が出ている場合があります。特に小さいお子様等が触れてケガなどされないよう、お取り扱いにご注意ください。衣類などの引っ掛かりにもご注意ください。
- 摩擦により床材など設置面を傷つけることがありますので、ご注意ください。商品を移動する際はひきずらないようにしてください。
- 食品や衣類を入れてご使用しないでください。衣類を入れますと、カビや色移りの原因となります。

- 天然の素材を使用しているため、素材の臭いに移ることがあります。また、色、形状のパラツキや、素材自体のキズがあります。
- 摩擦により色落ち、または素材カスの付着がある場合がございます。
- 湿気はカビや悪臭の原因となりますので、乾燥した場所で保管してください。また、時々風通しの良い日陰で乾燥させてください。
- カゴの端に植物を置くと、カゴがゆがむ場合がございます。植物はカゴの中央に置いてください。